

単元計画Ⅰ（中学１年）

- 1 領 域 「武道」
- 2 単 元 「相撲」
- 3 対 象 中学校第１学年
- 4 授業時数 １０単位時間
- 5 単元目標（学習のねらい）

（１）知識・技能

- 相撲の特性や成り立ち、礼法、技の名称・行い方などを理解する。
- 基本動作や基本となる技（押し、寄り）ができる。
- 基本動作や基本となる技を用いて、押したり寄ったりするなどの簡易な攻防を展開できる。

（２）思考力・判断力・表現力等

- 攻防などにおいて自己の課題を発見することができる。
- 課題の合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫することができる。
- 自己の考えたことを他者に伝えることができる。

（３）学びに向かう力・人間性等

- 相撲に積極的に取り組むことができる。
- 分担した役割を果たそうとすることができる。
- 禁じ技を用いないなど健康安全に気を配ることができる。

単元計画Ⅱ（中学２年）

- 1 領 域 「武道」
- 2 単 元 「相撲」
- 3 対 象 中学校第２学年
- 4 授業時数 １０単位時間
- 5 単元目標（学習のねらい）

（１）知識・技能

- 武道の伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解する。
- 基本動作や基本となる技（押し、寄り、前さばき、投げ技）ができる。
- 基本動作と基本となる技を用いて、相手の動きに応じながら、押したり寄ったりするなどの簡易な攻防を展開できる。

（２）思考力・判断力・表現力等

- 課題の合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫することができる。
- 自己の考えたことを他者に伝えることができる。

（３）学びに向かう力・人間性等

- 楽しさや喜びを味わいながら、相撲に積極的に取り組むことができる。
- 相手を尊重し、伝統的な行動のし方を守ろうとすることができる
- 一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとするすることができる。

単元計画Ⅲ（中学3年）

- 1 領 域 「武道」
- 2 単 元 「相撲」
- 3 対 象 中学校第3学年
- 4 授業時数 10単位時間
- 5 単元目標（学習のねらい）

（1）知識・技能

- 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古のし方、体力の高め方などを理解する。
- 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技（押し、寄り、前さばき、投げ技）ができる。
- 基本動作と基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じながら、相手を崩して、投げたりいなしたりするなどの攻防を展開できる。

（2）思考力・判断力・表現力等

- 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫することができる。
- 自己の考えたことを他者に伝えることができる。

（3）学びに向かう力・人間性等

- 楽しさや喜びを味わいながら、相撲に自主的に取り組むことができる。
- 相手を尊重し、伝統的な行動のし方を大切にすることができる。
- 自己の責任を果たそうとすることができる。
- 一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするすることができる。
- 健康安全を確保することができる。